

充電設備設置の手順や国の補助制度 について

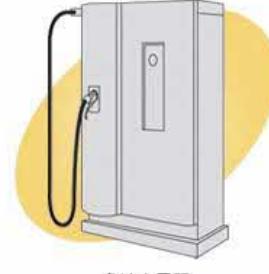
大阪府 環境農林水産部
脱炭素・エネルギー政策課

目 次

(1) 電気自動車（EV）用充電設備について

(2) 既存マンションへの充電設備設置の手順や補助金について

充電設備の種類

	基本	普通充電	急速充電
電力出力		3～6 kW	10～200 kW
充電スピード		緩やかに充電 (8時間で+50%程度充電可能)	急速に充電 (30分で+50%程度充電可能)
導入費用		負担少ない	負担多い
利用シーン		買い物、宿泊時、勤務中など (長時間駐車時)	長距離移動の継ぎ足し充電など (短時間駐車時)
設置場所例		マンション駐車場 、宿泊施設など	高速道路サービスエリア・パーキングエリア、 ガソリンスタンドなど
		 充電スタンド	 急速充電器
		 普通充電用コネクタの形状	 急速充電用コネクタの形状

(出典)「EV・PHV用普通充電器のご紹介」(2019年9月・(一財)電動車両用電力供給システム協議会) ※一部加工

普通充電設備

普通充電設備の種類

- ケーブル付き充電設備
 - ・充電ケーブルと一体化



- コンセントスタンド
 - ・自立型のコンセント
 - ・壁面に取付できない場所に設置



- コンセント
 - ・壁面に設置するコンセント



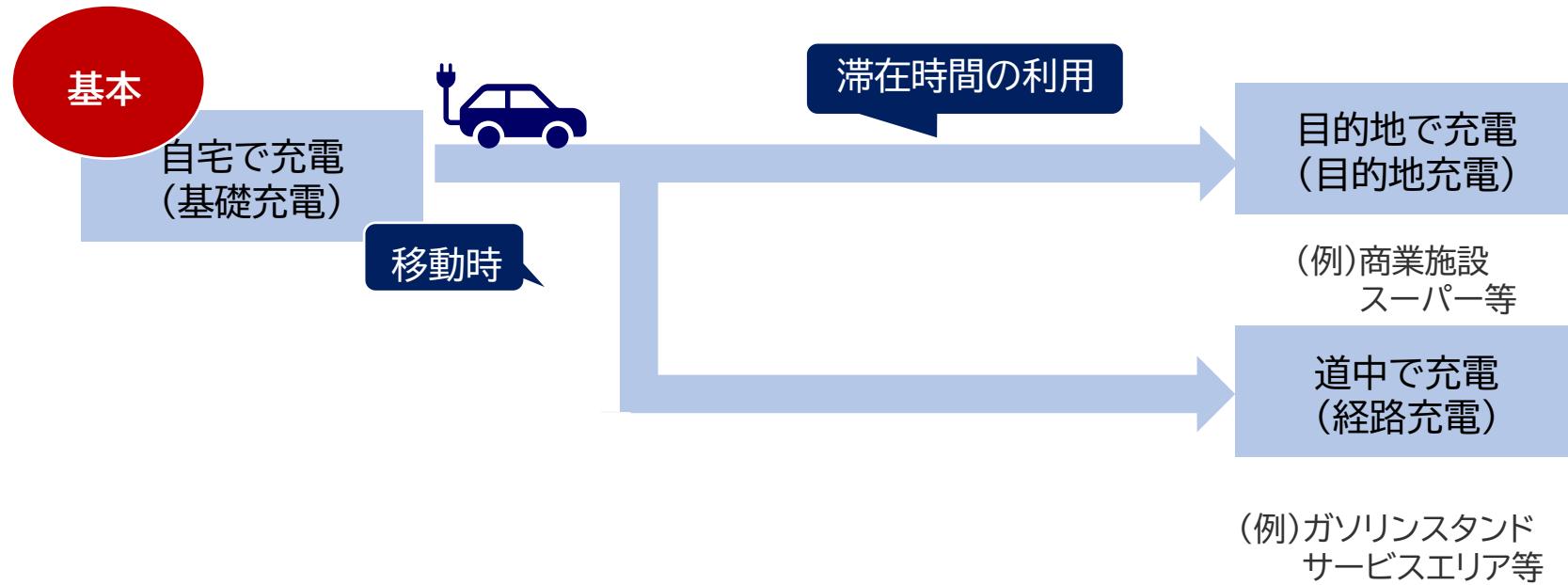
値段高い ← → 値段安い

第2部充電サービス事業者との無料相談会で、各社の製品やサービスの特長を是非、ご確認ください！

充電設備の利用シーン

- 電気自動車の充電は基本的に自宅に設置した充電設備で行います。

→夜間（寝ている間）に充電できるのが理想
※スマートフォンと同じ



- ・外出時に充電が必要になる場合、自動車ユーザーに一般開放されている公用充電設備を利用
- ・施設の滞在時間を利用して充電する「目的地充電」と 移動の道中で充電する「経路充電」を利用

充電にかかる時間（目安）

EV充電にかかる時間は、「充電する容量」と「充電器の出力」によって、決まります

- バッテリー 0 %から100%に充電に必要な時間

バッテリー容量	充電設備出力	充電時間
40kWh 日産リーフ（乗用車）	3kW 普通充電設備	約14時間
20kWh 日産SAKURA（軽自動車）	6kW	約7時間
	50kW 急速充電設備	約48分
	3kW 普通充電設備	約7時間
	6kW	約4時間
	50kW※ 急速充電設備	約40分

※30kwが上限であるため、30kwで充電

国と府の目標（車両）

国の目標

- 乗用車は、2035年までに、新車販売で電動車100%を実現
- 商用車は、小型の車については、新車販売で、2030年までに電動車20～30%、2040年までに電動車・脱炭素燃料車100%を目指す。大型の車については、2020年代に5,000台の先行導入を目指すとともに、2030年までに2040年の電動車の普及目標を設定

府の目標

- 府域の新車販売台数の割合（2030年）

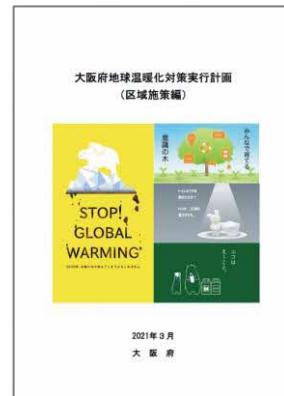
軽乗用車を除く乗用車の新車販売に占める電動車	： 10割
すべての乗用車の新車販売に占める電動車	： 9割
すべての乗用車の新車販売に占めるZEV	： 4割

- 府域の保有台数の割合（2030年度）

府域の自動車(商用車を含む)に占める電動車	： 4割
府域の自動車(商用車を含む)に占めるZEV	： 1割

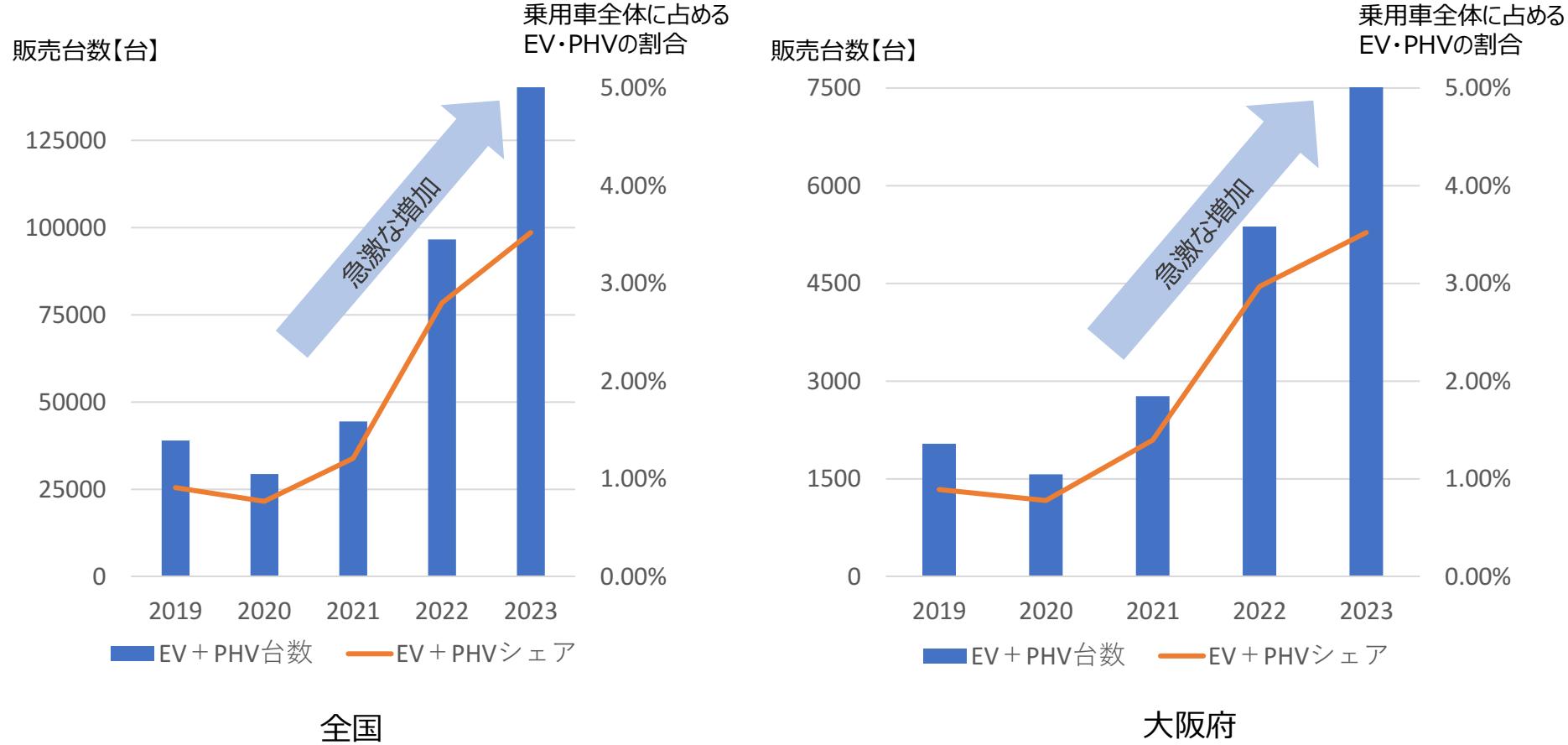
「おおさか電動車普及戦略」

「大阪府地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」



(注) ZEVとは… 電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池自動車（FCV）
電動車とは…ゼロエミッション車（ZEV）及びハイブリッド自動車（HV）

近年、日本でもEV・PHV新車販売シェアが急速に拡大！



国・府の普及目標と実績（充電設備）

国の目標

- 2030年までに公共用の急速充電器 3万口を含む充電インフラ30万口の整備をめざす（2023年10月指針）
目安：集合住宅等の基礎充電 10～20万口、

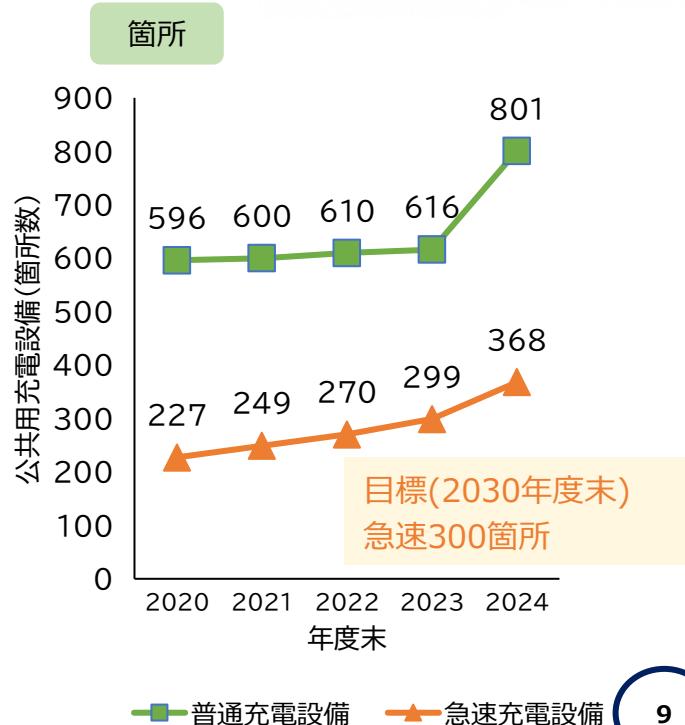
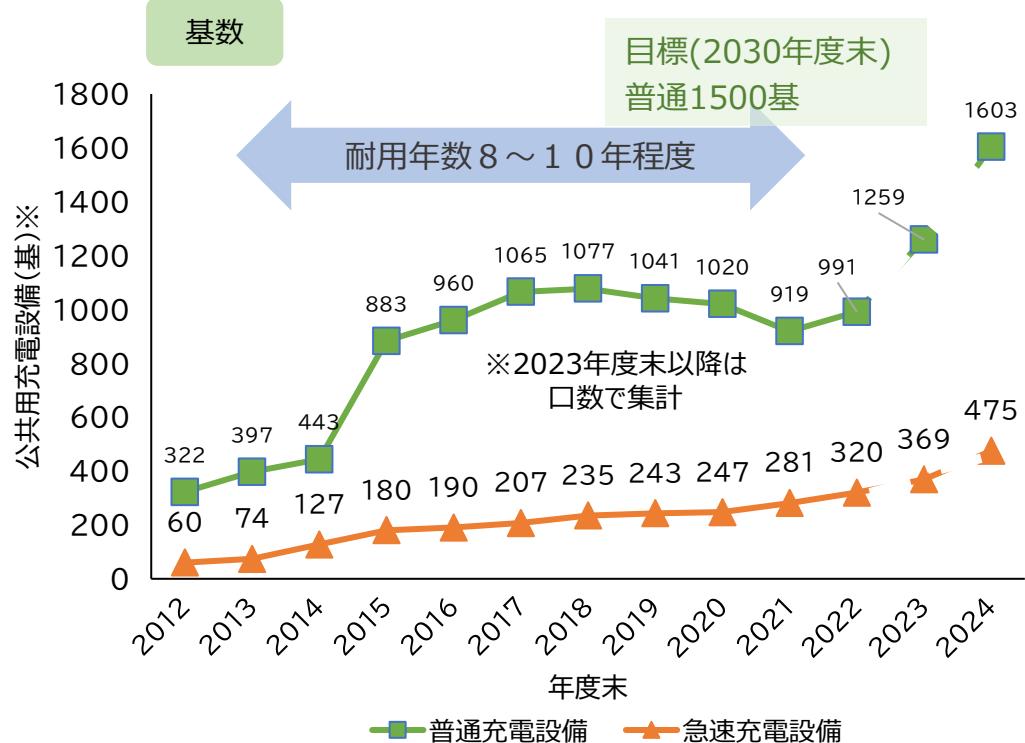
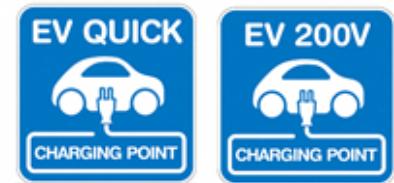
府の目標

- 府域のパブリック充電（公共用充電設備）（2030年度）

急速充電設備の設置箇所数：300箇所

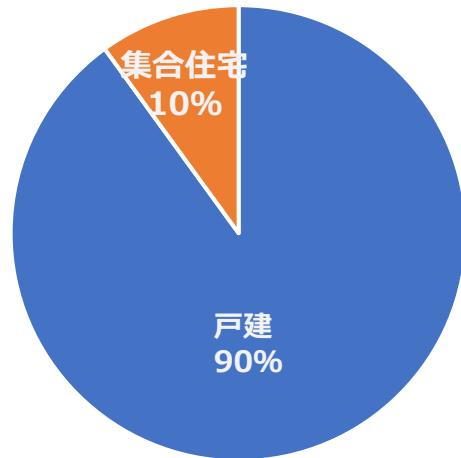
普通充電設備の設置基数：1,500基

「おおさか電動車普及戦略」



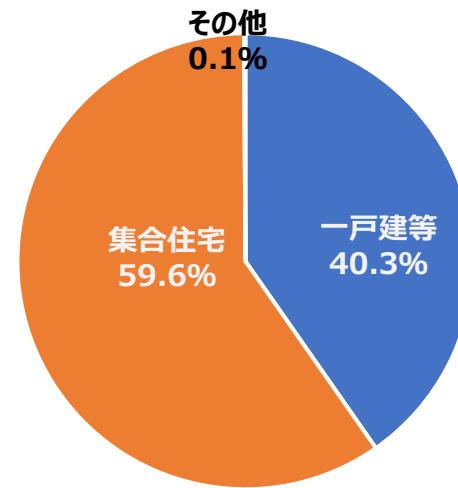
EV所有者・府の現状

EV所有者の10%が集合住宅に居住



(出典)「電気自動車・プラグインハイブリッド自動車」
の充電インフラ整備事業費補助金について
(平成29年7月・経済産業省) より

EV・PHV所有者が少ない集合住宅（共同住宅）の
居住世帯が府域の約半数を占める



(出典)「令和2年国勢調査」から大阪府作成

**集合住宅の居住者のうち「集合住宅に充電設備がないことで、
EVの購入が難しいと考える人」は約88.6%を占める**

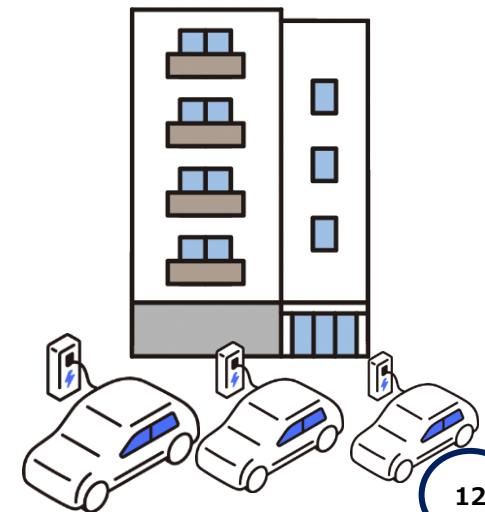
(出典) 日産自動車（株）EVと住環境についての調査より

目 次

(1) 電気自動車 (EV) 用充電設備について

(2) 既存マンションへの充電設備設置の手順や補助金について

- ① 充電設備の設置費用って高額？
- ② 既設の集合住宅にも充電設備の設置できる？
- ③ 充電設備の設置はどんな手順で進める？

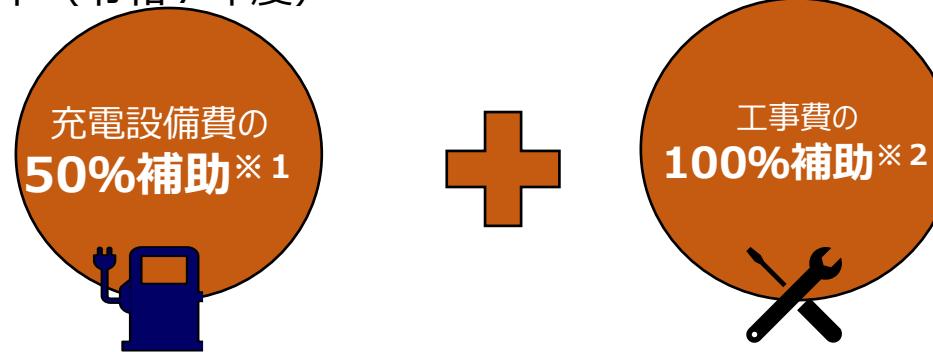


充電設備の設置について① 充電設備の設置費用って高額？

国※の補助金を活用して費用負担少なく設置することが可能です！

※クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金

●補助率（令和7年度）



※ 1. 補助対象となる充電設備は次世代自動車振興センターHPの補助対象充電設備一覧に記載

※ 2. 工事規模等により、費用・補助額は異なります（工事項目ごとに補助上限があります）。また、充電設備設置に必要と認められた経費のみが補助対象

●設置費用イメージ例（マンション/平置き駐車場の場合）※3

費用項目	コンセントタイプ [°] (4基)		ケーブル付タイプ [°] (1基)	
	費用	補助額	費用	補助額
充電設備※2	4万円	2万円	30万円	15万円
工事費※3	135万円	135万円	100万円	100万円
合計	139万円	137万円	130万円	115万円
持ち出し費用	2万円		15万円	

※ 3. 費用は標準的な規模での工事を行った場合のイメージです。設置台数や工事内容により変動いたしますのでご留意ください。

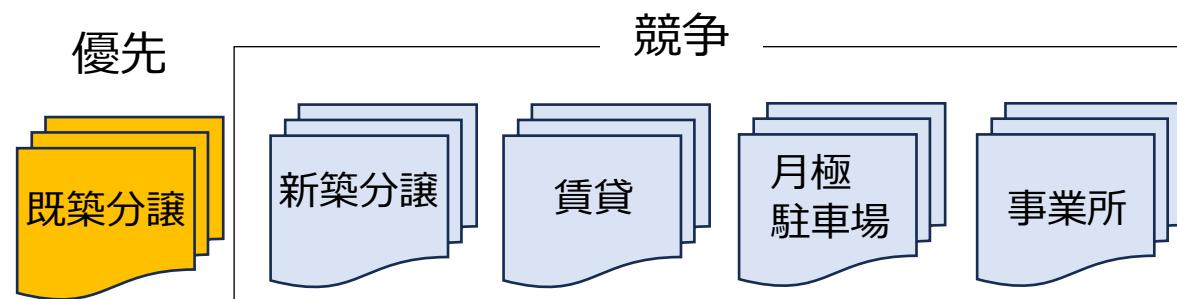
充電設備の設置について① 充電設備の設置費用って高額？

● 今年度の国補助金

○ 既築マンションに対する優遇策について

集合住宅のうち、既築の分譲マンションは

- ・補助金（基礎充電35億円）の優先順位が1番
- ・管理組合が申請する場合の申請書類などが簡略化

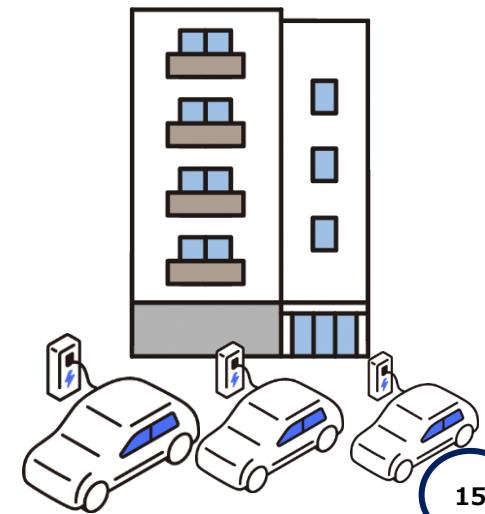


○ スケジュール（普通充電設備）

	受付期間	交付決定時期	実績報告締切
第1期	4月25日～ 5月19日	6月～8月	11月末
第2期	7月1日～ 7月22日	8月～10月	R8年1月末

充電設備の設置について

- ① 充電設備の設置費用って高額？
- ② 既設の集合住宅にも充電設備の設置できる？
- ③ 充電設備の設置はどんな手順で進める？



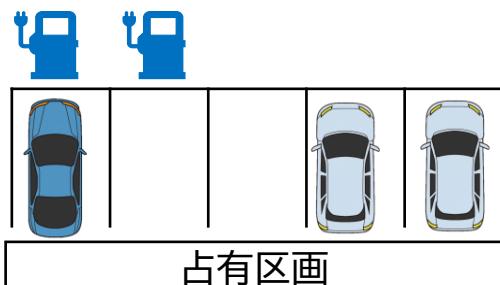
充電設備の設置について_② 既設の集合住宅にも充電設備の設置できる？

主な設置方法

【個別設置型】

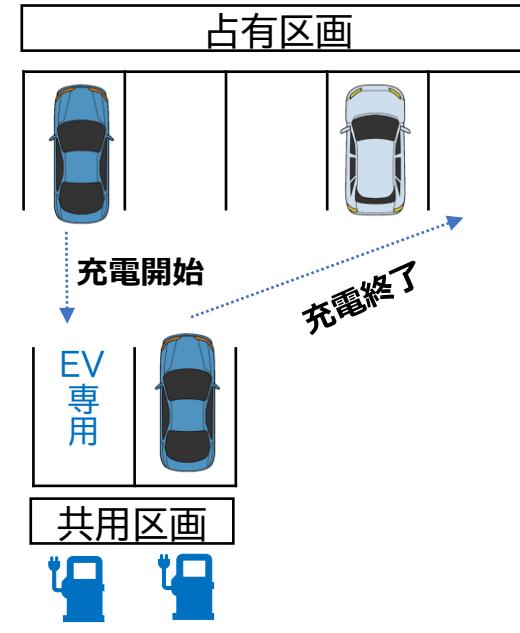
占有区画に充電設備を設置
(占有区画契約者のみ利用可)

設置イメージ



【シェア型】

共用スペースに充電設備を設置し、複数の人で利用
設置イメージ

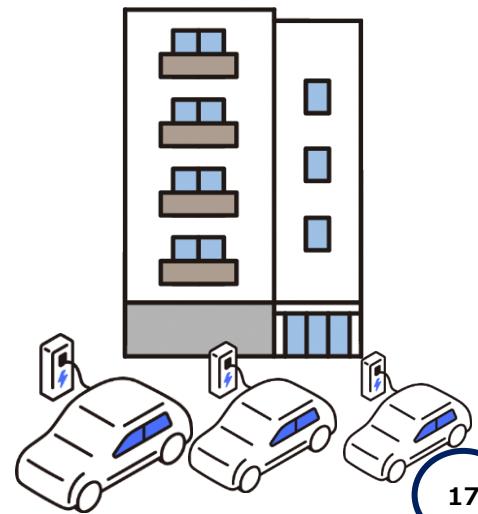


立体駐車場・機械式駐車場への設置が可能！

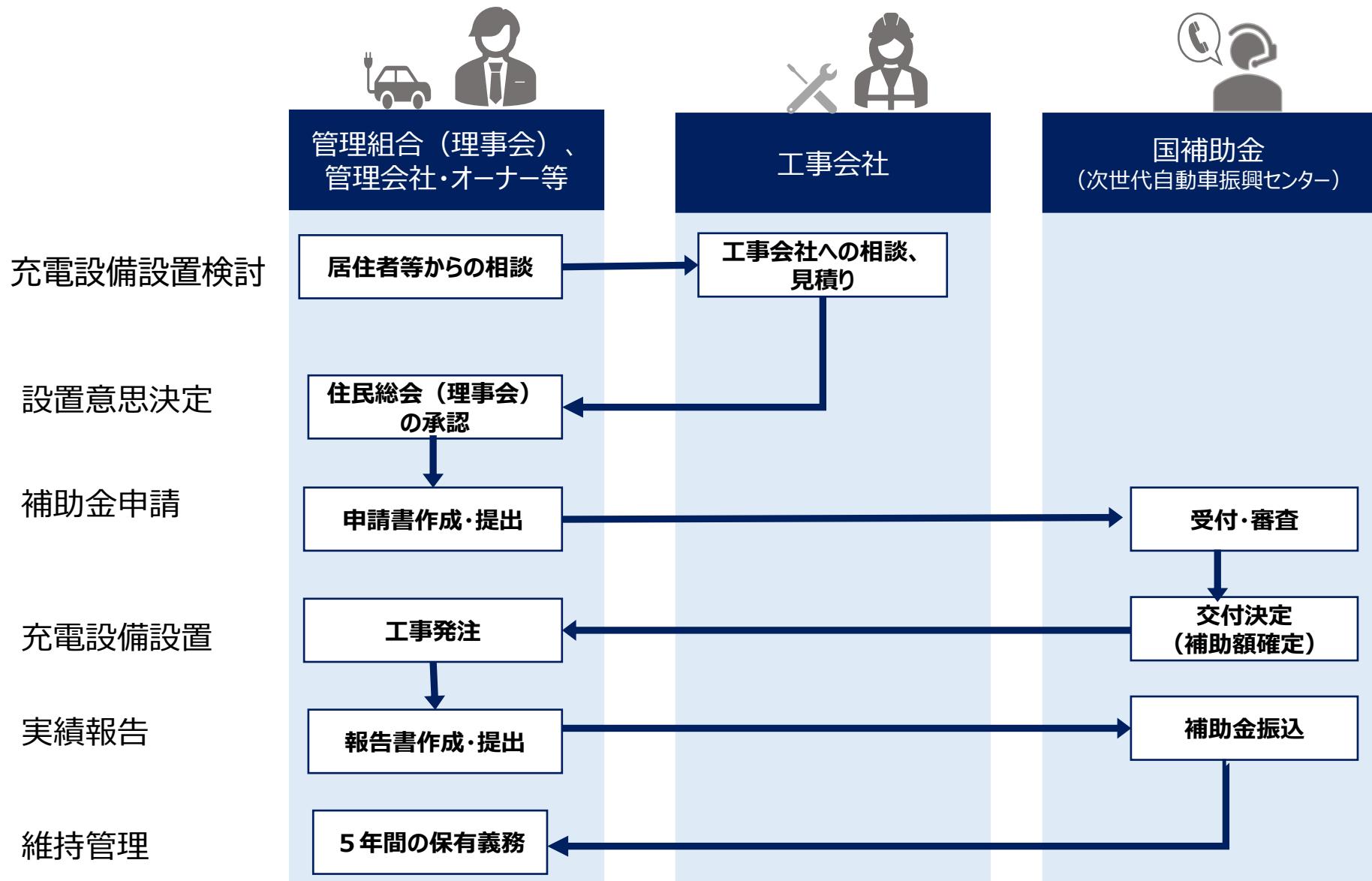
アプリで料金徴収が可能！

充電設備の設置について_③充電設備の設置はどんな手順で進める？

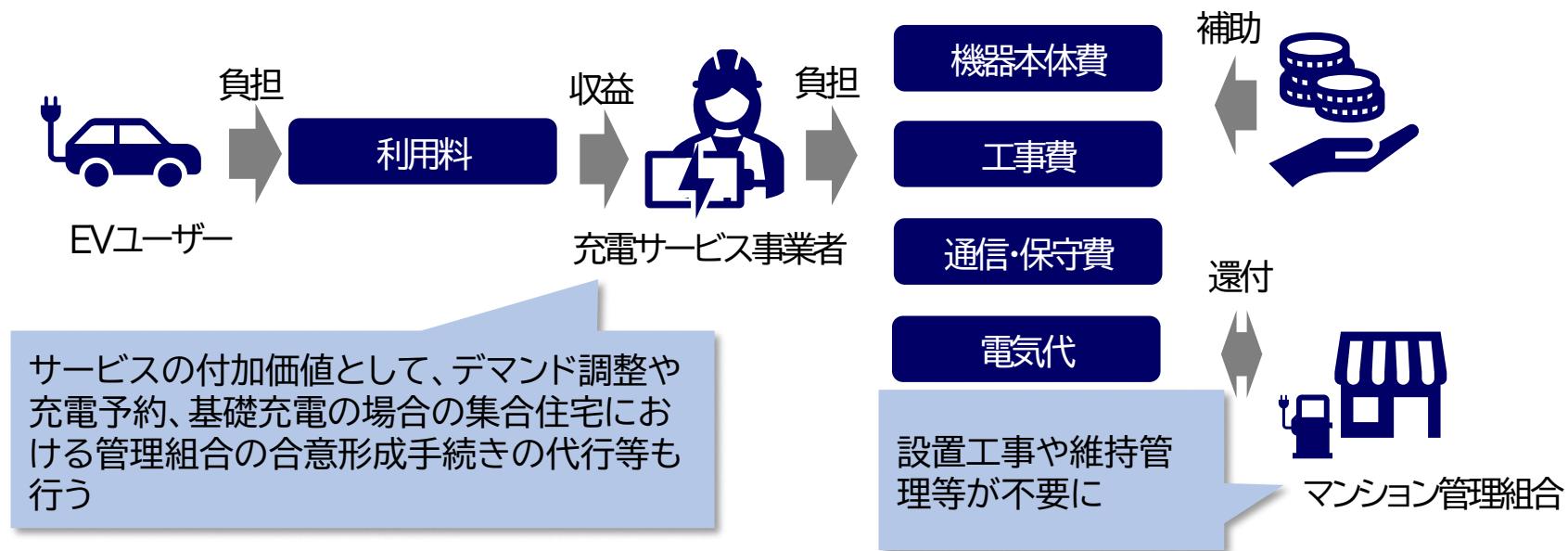
- ① 充電設備の設置費用って高額？
- ② 既設の集合住宅にも充電設備の設置できる？
- ③ **充電設備の設置はどんな手順で進める？**



充電設備の設置について_③充電設備の設置はどんな手順で進める？



<参考>充電サービス事業者とは



第2部個別相談会の充電サービス事業者(五十音順)

おおさか電動車協働普及サポートネット(※)の構成員のうちご協力いただける以下の事業者

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① (株)ジゴワツ | ④ ミライズエネエンジ (株) |
| ② 極東開発パーキング(株) | ⑤ ユアスタンド(株) |
| ③ Terra Charge (株) | ⑥ ユビ電(株) |

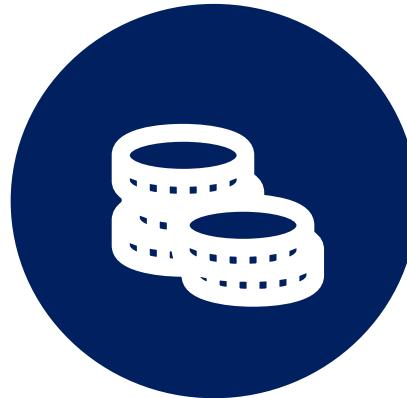
※「おおさか電動車普及戦略」の目標を達成するために設立

本日のまとめ



EVの普及

地球温暖化対策として
EVの更なる普及が必要です。
※EV・PHV新車販売台数
は急速に拡大



補助金

充電設備設置に
対する補助があります。
※初期投資が少なく
設置できるチャンス



充電サービス事業者

充電サービス事業者から
充電設備の設置・運用
に対するサービスを受ける
ことができます。

クリーンエネルギー自動車導入促進補助金（CEV補助金）の 補助上限額の見直しについて

1. 概要

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、環境性能に優れたクリーンエネルギー自動車の普及が重要。EVの競争力も強化していく観点から、クリーンエネルギー自動車導入促進補助金（CEV補助金）等も活用し、EV等の国内市場創出に引き続き取り組むことが重要。
- これまで、CEV補助金の補助上限額については、EVは90万円、軽EVは58万円、PHEVは60万円、FCVは255万円としていた。日米関税協議の合意も踏まえて、種別間の競争条件の公平を図る観点から、種別毎の標準車両価格に一定割合を乗じた値を補助上限額とする。

※車種毎の補助額は、EV等の国内市場が、ユーザーにとって安心・安全で持続的に発展していく環境を構築する観点から、メーカーの取組を総合的に評価し、決定する方式を維持。

2. 補助上限額について

【見直し前】

種別	基本の補助額	加算額*	補助上限額
EV	上限額85万円	最大5万円	90万円
軽EV	上限額55万円	最大3万円	58万円
PHEV	上限額55万円	+	最大5万円
FCV	上限額255万円	-	255万円



【見直し後】

種別	基本の補助額	加算額*	補助上限額
EV	上限額125万円	最大5万円	130万円
軽EV	上限額55万円	最大3万円	58万円
PHEV	上限額80万円	+	最大5万円
FCV	上限額145万円	最大5万円	150万円

※環境負荷の低減及びGX推進に向けた鋼材の導入に関する自動車メーカーの取組を評価し、加算額を決定する。

3. 適用開始時期

- **令和8年1月1日以降**に新車として新規登録を受ける車両に対し、見直し後の補助上限額を踏まえた補助額を適用。

※ただし、補助上限額が下がるFCVに関しては、年度途中の不利益変更を避けるべく、2025年度内は現行の補助額を維持し、2026年度以降、新たな補助上限額を踏まえた補助額を適用する。

この後ご登壇いただく
充電設備を設置した管理組合の体験談をご参考に、
ご検討ください！

この機会に
ぜひ充電設備
導入してな♪



©2014 大阪府もずやん